



# Amazon S3 向けのクラウドデータセンスの導入 Cloud Manager

Tom Onacki, Ben Cammett  
June 06, 2021

# 目次

Amazon S3 向けのクラウドデータセンスの導入 .....	1
クイックスタート .....	1
S3 の前提条件の確認 .....	1
Cloud Data Sense インスタンスの導入 .....	2
S3 作業環境でのデータセンスのアクティブ化 .....	3
S3 バケットでの準拠スキャンの有効化と無効化 .....	4
追加の AWS アカウントからバケットをスキャンする .....	5

# Amazon S3 向けのクラウドデータセンスの導入

Cloud Data Sense は、Amazon S3 バケットをスキャンして、S3 オブジェクトストレージに格納されている個人データや機密データを特定することができます。Cloud Data Sense は、NetApp 解決策用に作成されたバケットかどうかに関係なく、アカウント内の任意のバケットをスキャンできます。

## クイックスタート

これらの手順を実行すると、すぐに作業を開始できます。また、残りのセクションまでスクロールして詳細を確認することもできます。

クラウド環境で **S3** の要件を設定します

IAM ロールの準備やデータセンスから S3 への接続の設定など、クラウド環境がクラウドデータセンスの要件を満たしていることを確認します。 [すべてのリストを参照してください](#)。

**Cloud Data Sense** インスタンスを導入する

"[クラウドデータの導入センス](#)" インスタンスが展開されていない場合。

**S3** 作業環境でデータセンスをアクティブ化

Amazon S3 作業環境を選択し、\* Enable \* をクリックして、必要な権限を含む IAM ロールを選択します。

スキャンするバケットを選択します

スキャンするバケットを選択すると、Cloud Data Sense によってスキャンが開始されます。

## S3 の前提条件の確認

S3 バケットのスキャンに固有の要件を次に示します。

**Cloud Data Sense** インスタンス用の **IAM** ロールを設定する

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "s3:Get*",
        "s3:List*",
        "s3:PutObject",
        "s3:HeadBucket"
      ],
      "Resource": "*"
    },
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "iam:GetPolicyVersion",
        "iam:GetPolicy",
        "iam:ListAttachedRolePolicies"
      ],
      "Resource": [
        "arn:aws:iam::*:policy/*",
        "arn:aws:iam::*:role/*"
      ]
    }
  ]
}
```

### Cloud Data Sense から Amazon S3 への接続を提供する

VPC エンドポイントを作成するときは、Cloud Data Sense インスタンスに対応するリージョン、VPC、およびルーティングテーブルを選択してください。S3 エンドポイントへのトラフィックを有効にする発信 HTTPS ルールを追加するには、セキュリティグループも変更する必要があります。そうしないと、データセンスで S3 サービスに接続できません。

問題が発生した場合は、を参照してください ["AWS のサポートナレッジセンター：ゲートウェイ VPC エンドポイントを使用して S3 バケットに接続できないのはなぜですか。"](#)

別の方法として、NAT ゲートウェイを使用して接続を提供する方法があります。



インターネット経由で S3 にアクセスするためにプロキシを使用することはできません。

## Cloud Data Sense インスタンスの導入

["Cloud Manager に Cloud Data Sense を導入"](#) インスタンスが展開されていない場合。

この AWS アカウントで S3 バケットが Cloud Manager で自動的に検出されて Amazon S3 作業環境に表示されるように、AWS コネクタにインスタンスを導入する必要があります。

- 注： \* クラウドデータセンスをオンプレミスの場所に導入することは、現在 S3 バケットのスキャンではサポートされていません。

## S3 作業環境でのデータセンスのアクティブ化

前提条件を確認したら、Amazon S3 で Cloud Data Sense を有効にします。

手順

1. Cloud Manager の上部にある \* Canvas \* をクリックします。
2. Amazon S3 作業環境を選択します。



3. 右側の [データセンス] ペインで、[Enable] をクリックします。



4. プロンプトが表示されたら、を持つ Cloud Data Sense インスタンスに IAM ロールを割り当てます [必要な権限](#)。

### Assign an AWS IAM Role for Cloud Data Sense

To enable **Cloud Data Sense** on Amazon S3 buckets, select an existing IAM Role. Make sure that your AWS IAM Role has the permission defined in the [Policy Requirements](#).

Select IAM Role

occm

#### VPC Endpoint for Amazon S3 Required

A VPC endpoint to the Amazon S3 service is required so **Data Sense** can securely scan the data.

Alternatively, ensure that the **Data Sense** instance has direct access to the internet via a NAT Gateway or Internet Gateway.

#### Free for the 1st TB


Over 1 TB you pay only for what you use. [Learn more about pricing.](#)

Enable

Cancel

5. **[Enable]** をクリックします。



また、作業環境のコンプライアンススキャンを有効にすることもできます **Configuration** ページでをクリックします  ボタンを押して、**[ データセンスを活動化 ( Activate Data Sense ) ]** を選択

Cloud Manager によって、インスタンスに IAM ロールが割り当てられます。

## S3 バケットでの準拠スキャンの有効化と無効化

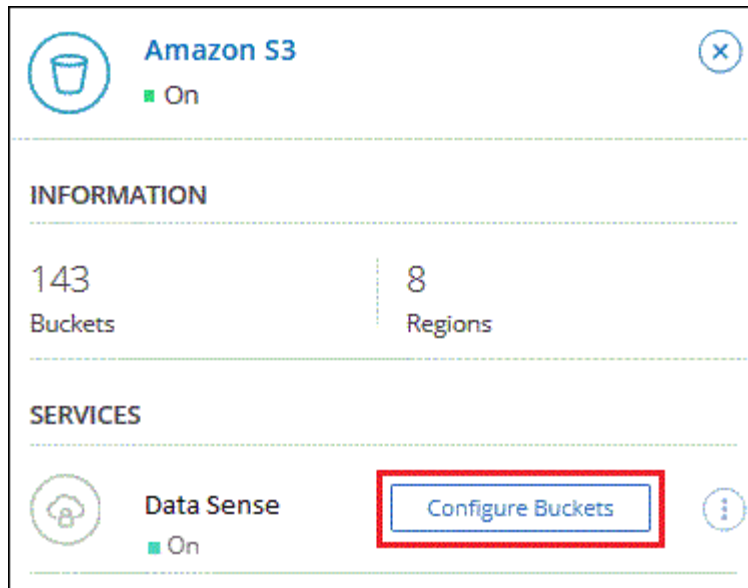
Cloud Manager が Amazon S3 で Cloud Data Sense を有効にしたら、次の手順でスキャンするバケットを設定します。

スキャンする S3 バケットを含む AWS アカウントで Cloud Manager を実行している場合は、そのバケットが検出され、Amazon S3 作業環境に表示されます。

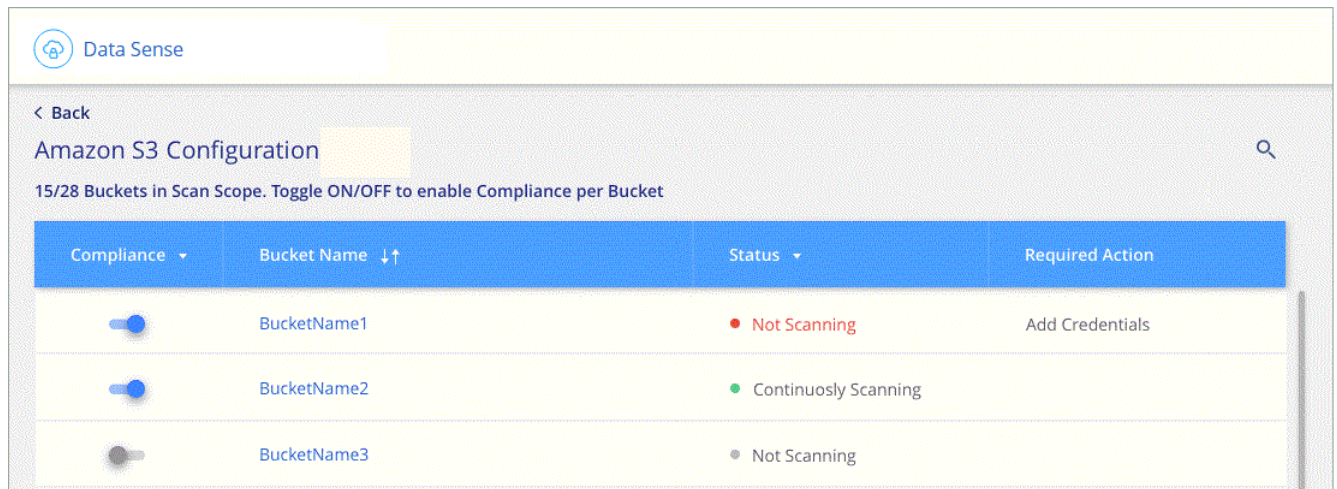
クラウドデータセンスも可能です [別々の AWS アカウントにある S3 バケットをスキャンします](#)。

手順

1. Amazon S3 作業環境を選択します。
2. 右側のペインで、 **\* バケットの設定 \*** をクリックします。



3. スキャンするバケットで準拠を有効にします。



Cloud Data Sense は、有効にした S3 バケットのスキャンを開始します。エラーが発生した場合は、エラーを修正するために必要なアクションとともに、[ ステータス ] 列に表示されます。

## 追加の **AWS** アカウントからバケットをスキャンする

別の AWS アカウントを使用している S3 バケットをスキャンするには、そのアカウントから既存の Cloud Data Sense インスタンスにアクセスするロールを割り当てます。

### 手順

1. S3 バケットをスキャンするターゲット AWS アカウントに移動し、\* 別の AWS アカウント \* を選択して IAM ロールを作成します。

## Create role

1

2

3

4


### Select type of trusted entity

 <b>AWS service</b> EC2, Lambda and others	 <b>Another AWS account</b> Belonging to you or 3rd party	 <b>Web identity</b> Cognito or any OpenID provider	 <b>SAML 2.0 federation</b> Your corporate directory
--	---	---	--

Allows entities in other accounts to perform actions in this account. [Learn more](#)

### Specify accounts that can use this role

Account ID\*

- Options**
- ☐ Require external ID (Best practice when a third party will assume this role)
  - ☐ Require MFA 

必ず次の手順を実行してください。

- Cloud Data Sense インスタンスが存在するアカウントの ID を入力します。
- 最大 CLI / API セッション期間 \* を 1 時間から 12 時間に変更し、変更を保存してください。
- クラウドデータセンス IAM ポリシーを関連付けます。必要な権限があることを確認します。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "s3:Get*",
        "s3:List*",
        "s3:PutObject",
        "s3:HeadBucket"
      ],
      "Resource": "*"
    }
  ]
}
```

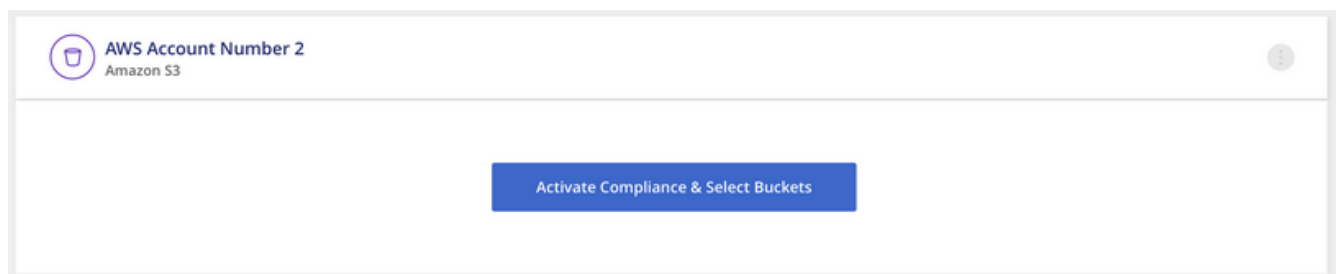
2. データセンスインスタンスが存在するソース AWS アカウントに移動し、インスタンスに関連付けられている IAM ロールを選択します。
  - a. 最大 CLI / API セッション期間 \* を 1 時間から 12 時間に変更し、変更を保存してください。
  - b. [\* ポリシーの適用 \*] をクリックし、[ ポリシーの作成 \*] をクリックします。
  - c. 「 STS : AssumeRole 」アクションを含むポリシーを作成し、ターゲットアカウントで作成したロールの ARN を指定します。



```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": "sts:AssumeRole",
      "Resource": "arn:aws:iam::<ADDITIONAL-ACCOUNT-ID>:role/<ADDITIONAL_ROLE_NAME>"
    },
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "iam:GetPolicyVersion",
        "iam:GetPolicy",
        "iam:ListAttachedRolePolicies"
      ],
      "Resource": [
        "arn:aws:iam::*:policy/*",
        "arn:aws:iam::*:role/*"
      ]
    }
  ]
}
```

Cloud Data Sense インスタンスプロファイルアカウントが追加の AWS アカウントにアクセスできるようになりました。

3. Amazon S3 Configuration \* ページに移動し、新しい AWS アカウントが表示されます。Cloud Data Sense が新しいアカウントの作業環境を同期し、この情報を表示するまでに数分かかる場合があります。



4. [Activate Compliance & Select Buckets] をクリックして、スキャンするバケットを選択します。

Cloud Data Sense は、有効にした新しい S3 バケットのスキャンを開始します。

## Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

## Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.